

令和 7 年度 土地改良技術
近畿農政局管内国営事業外部技術者活用業務

報 告 書

令和 8 年 3 月



目 次

第1章 業務目的及び概要	1
第2章 東条川二期地区（昭和池）押え盛土改修に関する検討	
2.1 業務対象地区及び検討対象施設の概要	2-1
2.2 外部技術者の選定	2-2
2.3 施工計画等の検討に係る課題と留意点の整理	2-3
2.4 現地調査	2-4
2.4.1 行程・出席者名簿	2-4
2.4.2 調査状況写真	2-6
2.4.3 配布資料	2-6
2.4.4 外部技術者の所見	2-16
2.5 第1回打合せ	2-17
2.5.1 議事次第・出席者名簿	2-17
2.5.2 打合せ資料	2-18
2.5.3 打合せ記録簿	2-37
2.5.4 検討結果	2-40
2.6 第2回打合せ	2-41
2.6.1 議事次第・出席者名簿	2-41
2.6.2 打合せ資料	2-42
2.6.3 打合せ記録簿	2-53
2.6.4 検討結果	2-55
2.7 とりまとめ	2-57

第3章 兵庫県内、奈良県内及び和歌山県内のため池（桜池・大溜池・入野大池）

BIM/CIM活用ガイドライン（案）ため池編改定に関する検討

3.1	業務対象及び検討対象施設の概要	3-1
3.2	外部技術者の選定	3-2
3.3	検討に係る課題と留意点の整理	3-3
3.4	現地調査	3-4
3.4.1	行程・出席者名簿	3-4
3.4.2	調査状況写真	3-6
3.4.3	配布資料	3-7
3.4.4	外部技術者の所見	3-72
3.5	第1回打合せ	3-74
3.5.1	議事次第・出席者名簿	3-74
3.5.2	打合せ資料	3-75
3.5.3	打合せ記録簿	3-78
3.5.4	検討結果	3-83
3.6	第2回打合せ	3-84
3.6.1	議事次第・出席者名簿	3-84
3.6.2	打合せ資料	3-85
3.6.3	打合せ記録簿	3-133
3.6.4	検討結果	3-139
3.7	とりまとめ	3-141
第4章	打合せ簿	4

第 1 章 業務目的及び概要

1.1 業務の目的

本業務は、近畿農政局管内の国営事業地区等が抱えている課題に対し、外部技術者の視点や技術力等を活用しながら、即応的、機動的に課題の解決を図り、事業の適切かつ円滑な推進に寄与するとともに、農政局技術者の一層の技術力向上に資することを目的とする。

1.2 業務の対象地区

本業務の対象地区は、国営かんがい排水事業東条川二期地区、兵庫県内・奈良県内及び和歌山県内のため池で別紙位置図に示すとおりである。

1.3 業務内容

作業項目	作 業 内 容	数量
1. 東条川二期地区 (昭和池)	昭和池の押え盛土の改修における施工計画、仮設計画に関する指導・助言を行う。	—
(1) 外部技術者の 選定	地区の検討内容を把握した上で、対象となる工事に知見を有する外部技術者を2名選定し、委嘱に係る手続きを行う。 なお、外部技術者は受注者が提案する候補者を基に発注者と協議のうえ決定する。	1 式
(2) 現地調査	業務遂行に必要な現地調査を外部技術者とともに行う。	1 式
(3) 施工計画、仮設計画の検討に係る課題と留意点の整理	昭和池の押え盛土の改修に関し、以下のことを考慮した施工計画、仮設計画に係る課題と留意点を整理する。 ・既設の下流斜面道路を利用し押え盛土にて改修を行うことから、仮設計画（資機材運搬計画）、施工計画（施工手順）の検討が重要である。	1 式
(4) 設計業務打合せにおける指導・助言・検討結果の整理	外部技術者（2名／対象施設）とともに、事業所発注業務の打合せ（2回を予定：WEB）に出席し、設計業務受注者から提案された施工計画及び仮設計画（案）に対して指導・助言を行い、その指導・助言をもとに検討結果を整理する。	1 式
(5) 点検とりまとめ	各作業における成果物について点検・とりまとめを行い、業務報告書を作成する。	1 式

作業項目	作業内容	数量
2. 兵庫県内、奈良県内 及び和歌山県内のた め池（桜池・大溜池・ 入野大池）	ガイドライン（案）の改定案の検討に関する指導・助言を 行う。	—
（1）外部技術者の 選定	検討内容を把握した上で、対象となる工種及び情報化施工 技術に知見を有する外部技術者を2名選定し、委嘱に係る手 続きを行う。 なお、外部技術者は受注者が提案する候補者を基に発注者 と協議の上決定する。	1 式
（2）現地調査	業務遂行に必要な現地調査を外部技術者とともに行う。な お、現地調査の対象施設は桜池及び大溜池とする。	1 式
（3）施工管理技術の 適用検討に関す る指導・助言・検 討結果の整理	対象施設の4次元モデル（施工時の活用に応じた時系列3 次元モデル）に関して、外部技術者（2名）とともに、発注 者が開催する打合せ（1回を予定：WEB）に出席し、施工現 場での技術の活用について、指導・助言を行い、その指導・ 助言をもとに検討結果を整理する。	1 式
（4）ガイドライン （案）に関する課題 と留意点の整理	ガイドライン（案）の改定内容に関して、外部技術者（2 名）とともに、発注者が開催する打合せ（1回を予定：WEB） に出席し、施工現場での活用に当たっての課題と留意点につ いて整理し、指導・助言を行う。	1 式
（5）点検とりまとめ	各作業における成果物について点検・とりまとめを行い、 業務報告書を作成する。	1 式

1.4 業務期間

令和7年10月22日～令和8年3月10日

1.5 業務の契約金額

本業務の契約金額は、 円（税込み）である。

1.6 業務の成果物

成果物として以下のものを提出する。

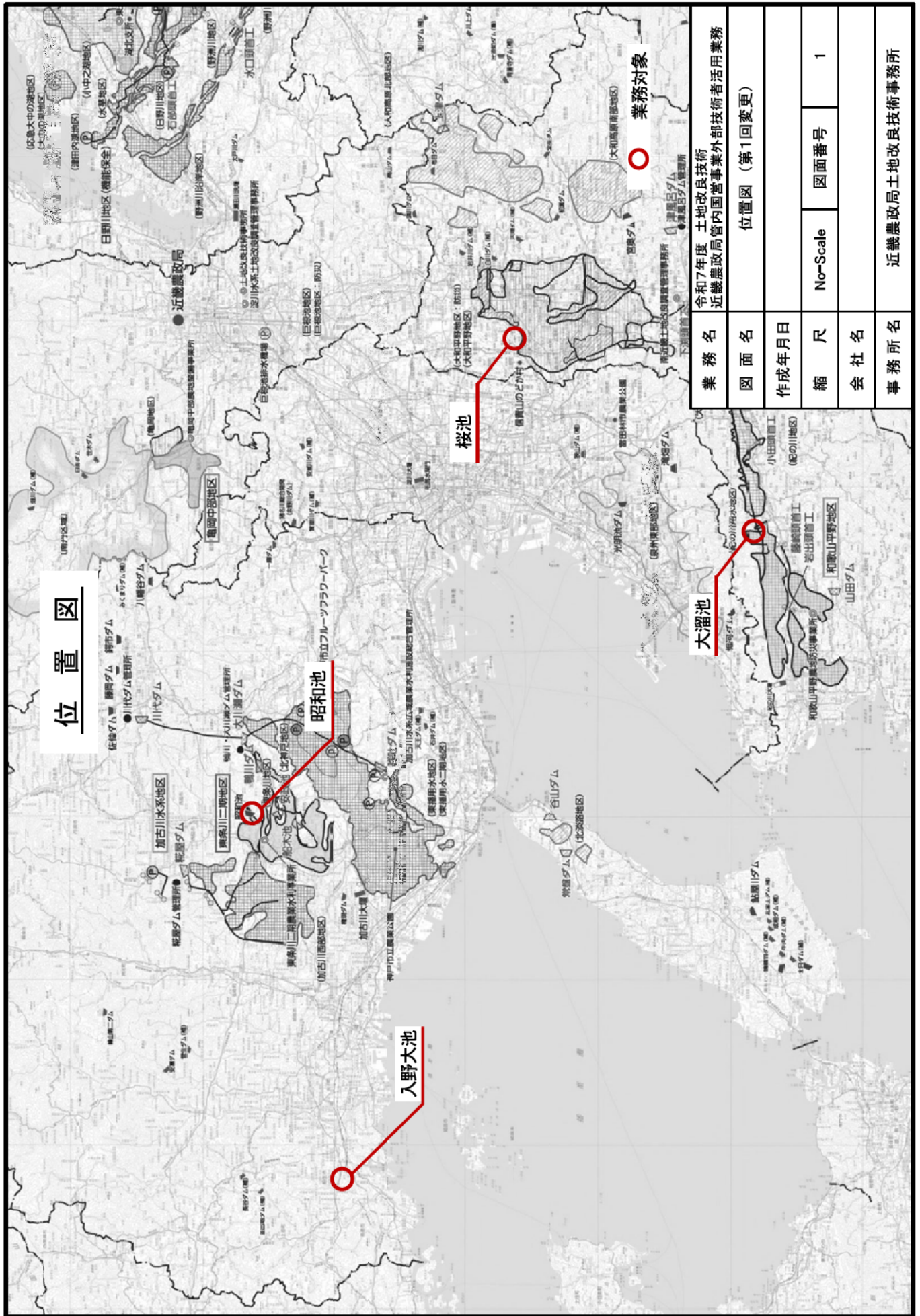
- (1) 成果物の電子媒体（CD-R等）正副2部
- (2) 成果物の出力2部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じ）
- (3) 公開用成果物（案）の電子媒体（CD-R等）1部

1.7 实施体制

管理技術者：

担当技術者：

位置図



業務名	令和7年度 土地改良技術 近畿農政局管内国営事業外部技術者活用業務		
図面名	位置図 (第1回変更)		
作成年月日			
縮尺	No-Scale	図面番号	1
会社名			
事務所名	近畿農政局土地改良技術事務所		